

贅沢&節約志向の混合と二極化 ～50代以上の消費行動に変化～

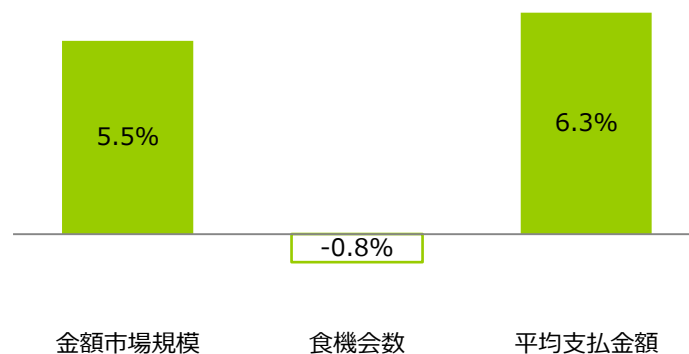
【東京、2015年6月24日】2015年春闘で、円安を追い風にした大手企業が過去最高のベアを提示するなど一部では景気は快方へシフトしているようにみえます。一方、消費税増税・円安による原材料費高騰などを背景に強い向かい風を受けている外食・中食市場において、消費者はどのような反応を示しているのか、消費税増税前の2014年Q1（第1四半期）との比較でどのような変化があったのかを、エヌピーディー・ジャパン（株）が提供する外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を用いて探っていきます。

外食・中食市場全体の市場規模は、増税も寄与して成長

CRESTによると、外食・中食市場では2015年Q1と2014年Q1の比較で食機会数^{*2}（客数）は-0.8%と微減も、金額市場規模が5.5%伸長。これには客単価の伸び（+6.3%）が大きく影響した（図表1）。消費税増税前の2014年1-3月との比較ということもあり、特に客単価に上昇の動き。ただし、+6%は増税分を上回る伸び率であることから、その要因がどこにあるのかが興味深いポイントだ。

【図表1】外食・中食市場 対前年同期比 成長率

（2014年第1四半期 vs. 2015年第1四半期、%）

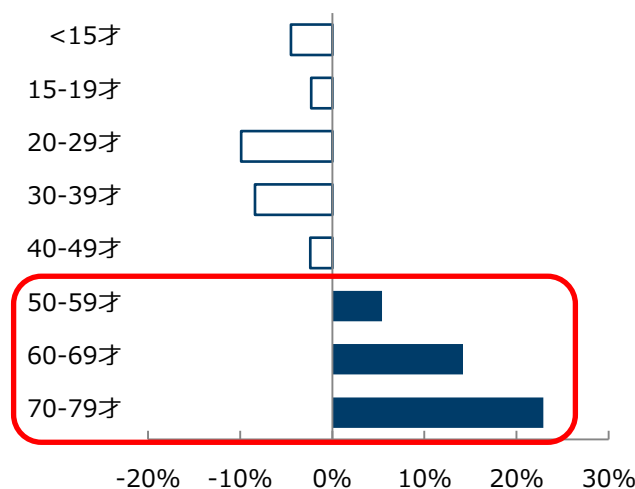


出典：エヌピーディー・ジャパン(株) Japan CREST®より

50 代以上の伸びが、市場全体の成長を牽引

2014 年 Q1 からの伸び率を年代別にみると、食機会数は 0~40 代のどの年齢層においてもマイナス成長なのに対し、50 代以上の年齢層においては一様に伸びがみられる（図表 2）。そして、そのなかでも特に女性が伸びた（男性 50 代以上：+7.9%、女性 50 代以上：+16.8%）。

【図表 2】 年代別 対前年同期比 食機会数成長率
(2014 年第 1 四半期 vs. 2015 年第 1 四半期、食機会ベース、%)



出典：エヌピーディー・ジャパン(株) Japan CREST®より

対極にある、高価格業態と低価格業態がともに成長

この 50 代以上の食機会数が伸びた業態は、FR（ファミリーレストラン）や居酒屋以外の FSR（フルサービスレストラン）の「その他 FSR」（すし屋などの和風レストラン、イタリアンなどの洋風レストラン、中華料理専門店、バー・エンタテインメントなど）で 25%伸びており、男性に比べ女性の伸び率が高い（+40.2%）

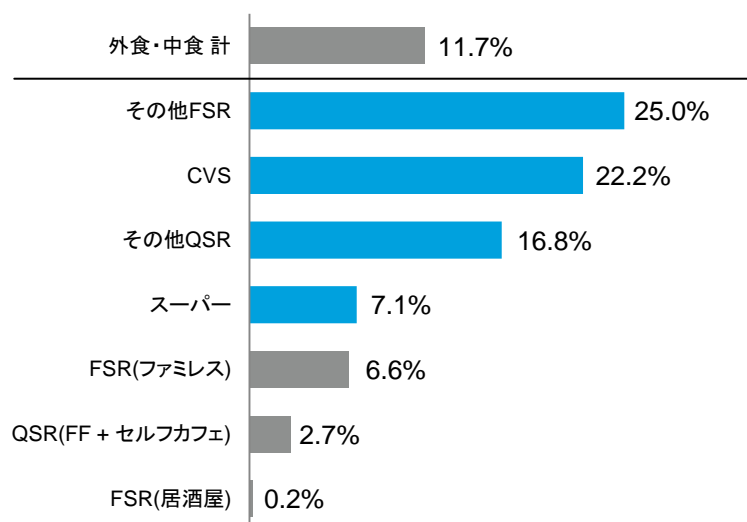
（図表 3）。そして、FF（ファストフード）とセルフサービス型カフェ以外の QSR（クイックサービスレストラン）の「その他 QSR」（ベーカリー、従来型喫茶店、洋菓子店）も大きく伸びて、+16.8%（こちらは男性の伸び率が高く +21.6%）。このように、他業態に比べて客単価の高い業態が、前年同期比で市場の成長

を牽引した 50 代以上により利用されている。さらに、これらの業態においては客単価も大きく伸びており、市場規模の成長を後押ししたことは間違いなく、贅沢志向へのシフトも垣間見える。

しかし一方で、この 50 代以上において CVS（コンビニエンスストア）やスーパーなど低価格業態の利用も伸びており、そこでは客単価が下がっていることも見逃せない（どちらも女性において大きく下落した）。上記で言及した贅沢志向のために、節約も欠かせないということが考えられる。また、その他 FSR において特に伸びた女性のこの年代が、CVS と SM において消費税増税後にも関わらず出費を抑えているという現状は、家事を担う主婦等の節約に対する意識の高さを表している。

【図表 3】業態³別 対前年同期比 食機会数成長率

(50 代以上、2014 年第 1 四半期 vs. 2015 年第 1 四半期、食機会ベース、%)



出典：エヌピーディー・ジャパン(株) Japan CREST®より

景気回復への風潮が快方へシフトしつつあるなか、食シーンでも高級志向、贅沢志向が見られ、市場を押し上げています。一方で、この Q1 における成長のドライバーとなった 50 代以上においては、中食シーンでは特に女性が価格を抑え、節約しているという現状も見えた。これら 2 つの傾向が如実に表れたのは、「贅沢をするためには節約も辞さない」という姿勢が出ているとも捉えられ、また贅沢層と節約層の「二極化」が表れ始めているともいえる。今後、二極化はさらに進むのか、どちらか一方に振れていくのかも含めて、外食・中食シーンにおける業態間の使われ方、客単価の変化には、引き続き注目する必要がある。

^{*1} CREST®

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1年365日、直接消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。（海外各国版もご用意）

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

^{*2} 食機会数

外食・中食を利用した延べ食機会（朝/午前間食/昼/午後間食/夕/夜間食）数

^{*3} 業態区分

- ・ QSR（クイックサービスレストラン）：ファストフード業態および、パン屋・ベーカリー・カフェ業態など
- ・ FSR（フルサービスレストラン）：居酒屋業態、ファミリーレストラン業態および、その他レストラン業態

お問合せ

エヌピーディー・ジャパン株式会社

Email : npdjapan.info@npd.com

〒108-0074

東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL: 03-5798-7663 / FAX: 03-5798-7665